

口腔内で使用する新型無煙タバコ VELO, ZYN, NORDIC SPIRIT に関する緊急提言

2026 年 8 月 31 日

一般社団法人日本口腔衛生学会

無煙タバコ的一种である VELO, ZYN, NORDIC SPIRIT（以下、新型無煙タバコ）が、日本国内で急速に広まる可能性があります。2020 年に VELO, 2025 年に ZYN, 2026 年に NORDIC SPIRIT が相次いで発売され、2026 年にはインターネットを使うなど販路の拡大が進みました。2020 年に施行された改正健康増進法が見直しの時期を迎え、「予防原則」に基づく受動喫煙対策の強化が議論されるなか、タバコ会社は先行製品の発売時にみられた紙巻タバコや加熱式タバコの代替用製品として、新型無煙タバコの販売促進を目的とした積極的なプロモーションの展開が始まっています。

無煙タバコは葉タバコを燃焼・加熱することなく使用する製品であり、かみタバコとかぎタバコに大別されます。新型無煙タバコは、製品の説明ではニコチンを白色の顆粒状粉末または植物繊維を基材とした素材に配合し、小袋（パウチ、サチェットともいう）に封入した製品であり、一部の製品にはタバコの葉の断片様のものが含まれています。これを口腔内（口唇の裏側）に挟んで使用し、口腔粘膜や歯肉を介してニコチンを体内に循環させます。国内で販売された無煙タバコには、チューイングガムにタバコの葉を混ぜた「ガムタバコ」（2003 年発売、現在は販売中止）や、小袋にタバコ葉を封入した「スヌース」（2013 年発売、2026 年 4 月に廃止決定）がありました。日本学術会議は、「ガムタバコ」と「スヌース」の発売時に、無煙タバコ製品による健康被害を阻止するための報告・提言を発出しています。

日本口腔衛生学会は、国民の健康を守る専門団体としての責務に基づき、2002 年に禁煙宣言『「たばこのない世界」を目指して』を、2016 年には受動喫煙対策を含めた新たな声明を発表しました。さらに、2003 年には「ガムタバコ」の認可取り消しの申請を、2014 年には「スヌース」に関する情報発信を行っております。このたび、以下の新型無煙タバコに関する公衆衛生上の懸念事項を踏まえ、緊急の提言を行います。

1. 健康影響は少ないという誤認

無煙タバコは、発がん物質をはじめとする有害化学物質を含むことから、その使用が口腔がんなどの原因となることに加え、歯周疾患や循環器疾患のリスクを高める可能性が報告されています。海外の報告では、新型無煙タバコと類似した製品から発がん物質が検出されていますが、国内で販売されている製品の化学組成は明らかではありません。また、有害化学物質の含有量が少ないとするデータの多くは、タバコ産業が関与した研究に基づくものです。新型無煙タバコ類似製品の口腔への健康影響については、口腔粘膜や歯肉に直接的に接触することから、口腔組織への影響が示唆されています。しかし、新型無煙タバコは市場に登場してからの期間が比較的短く、人を対象とした信頼性の高い知見は十分に蓄積されていません。

2. 喫煙規制場所での使用を助長

新型無煙タバコは口腔内で使用するため、使用の有無が周囲から視認されにくいという特徴があります。また、タバコ会社の広告では、燃焼や加熱を伴わず、煙や蒸気、臭いが発生しないことから、周囲への影響を気にすることなくさまざまな場所で使用できると説明されています。こ

のような製品特性は、職場、学校、飲食店、公共施設など、改正健康増進法により喫煙が規制されている場所での使用を助長する可能性が懸念されます。さらに、煙や蒸気を発生しないことから受動喫煙のリスクは低いと考えられていますが、製品から空気中に放出された蒸気や使用者の口気からのニコチンに周囲の人が曝露される可能性が懸念されます。

3. 若年者のタバコ使用の開始やニコチン依存の拡大

新型無煙タバコは、ミントやコーラ・フルーツ系のフレーバー、洗練されたパッケージデザイン、小型で携帯しやすい形状を特徴としています。これらの要素は、若年者やタバコ製品の未使用者の関心や購買意欲を喚起し、ニコチン依存症の入口となる可能性があります。若年者におけるニコチン曝露は依存形成につながるだけでなく、脳機能の発達に影響を及ぼす可能性も指摘されています。

4. 子どもの誤飲・誤食の危険性

新型無煙タバコは、菓子類に類似した外観のパッケージおよび小袋形状を特徴としており、その視覚的特性が食品や菓子と混同されやすいことから、「スヌース」発売時に指摘されたように、子どもによる誤飲・誤食のリスクが懸念されます。家庭内等において適切に保管・管理されていない場合には、子どもが安易に触れたり口の中に入れたりする可能性があります。

5. 禁煙阻害とニコチン依存の継続

新型無煙タバコは、紙巻タバコや加熱式タバコの代替用製品として、一時的な使用だけでなく、継続的な使用も想定した製品として紹介されることが多いため、「健康的なタバコへの代替」や「禁煙に有用」といった誤認を招く可能性があります。新型無煙タバコを禁煙補助として用いることの有効性は立証されていません。ニコチンを含む新型無煙タバコの使用は、ニコチン依存によるタバコ製品の使用を維持・継続させ、使用中止を困難にする可能性があります。

【提言】

1. 国内で販売されている新型無煙タバコについて、独立した研究機関等による化学組成や口腔がんを含む健康影響に関する科学的知見を蓄積し、適切な情報提供を推進すること。
2. 職場や公共施設等における新型無煙タバコの広報活動および使用実態を把握・モニタリングし、必要な規制について検討すること。
3. 若年者およびタバコ未使用者における、新型無煙タバコ使用によるニコチン依存の形成を防止するための対策を強化すること。
4. 子どもによる新型無煙タバコの誤飲・誤食を防止するための強力な安全対策を構築すること。
5. 新型無煙タバコ使用によるニコチン依存の継続を防ぎ、すべてのタバコ製品からの離脱を支援する対策を推進すること。

WHO が主導するたばこ規制枠組条約（FCTC）は、タバコおよび無煙タバコを含むすべてのニコチン関連製品について、広告規制、課税、警告表示など包括的対策の実施を求めています。新型無煙タバコは単なる新規製品ではなく、国際的な公衆衛生上の課題として位置付けられており、日本においても WHO の知見および他国の動向を踏まえた規制・対策の検討が不可欠です。

以上

参考文献・資料

- 1) 日本学術会議, 口腔機能学研究連絡委員会, 齲蝕学・歯周病学研究連絡委員会, 咬合学研究連絡委員会: 報告「ガムたばこの蔓延阻止に向けて ―禁煙から脱たばこへ―」(2005 年 7 月 21 日), <https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-19-t1031-4.pdf> (2026 年 6 月 30 日アクセス).
- 2) 日本学術会議, 健康・生活科学委員会・歯学委員会合同 脱タバコ社会の実現分科会: 提言「無煙タバコ製品(スヌースを含む)による健康被害を阻止するための緊急提言」(2013 年 8 月 30 日), <https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-22-t177-1.pdf> (2026 年 6 月 30 日アクセス).
- 3) 日本口腔衛生学会: 「禁煙宣言『たばこのない世界』を目指して」(2002 年 9 月 13 日), https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/sub/statement_20020913_02.html (2026 年 6 月 30 日アクセス).
- 4) 日本口腔衛生学会: 「歯科口腔保健における受動喫煙防止と禁煙の推進について」(2016 年 5 月 29 日), https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_20160529.pdf (2026 年 6 月 30 日アクセス).
- 5) 埴岡 隆ほか(日本口腔衛生学会禁煙推進委員会): 日本で発売された口腔内使用無煙タバコ(スヌース)に関連する資料. 口腔衛生会誌 64: 34-37, 2014.
- 6) Travis N et al.: The Potential Impact of Oral Nicotine Pouches on Public Health: A Scoping Review. Nicotine Tob Res 27, :598-610, 2025.
- 7) Yuan M et al.: Nicotine and the adolescent brain. J Physiol 593:3397-412, 2015.
- 8) Leslie FM et al.: Unique, long-term effects of nicotine on adolescent brain. Pharmacol Biochem Behav 197:173010, 2020.
- 9) Hartmann-Boyce J et al.: Oral nicotine pouches for cessation or reduction of use of other tobacco or nicotine products. Cochrane Database Syst Rev 10: CD016220, 2025.
- 10) World Health Organization: WHO position on Tobacco Control and Harm Reduction (2025 年 11 月 12 日), <https://www.who.int/publications/m/item/who-position-on-tobacco-control-and-harm-reduction> (2026 年 6 月 30 日アクセス).